

# 立川

12

立川と語ろう 立川に生きよう  
December 2008  
écoutez bien Vol.27 No.289





立川にごちそうあり!

⑤

# クリスマスには正統派フレンチ



白子のムニエル ケッパーソース



アワビのアンチョビソース

街にキラキラとクリスマスの飾り付け。雪でも舞ってくればさらに気分は盛り上がる。ジングルベルが繰り返し流れてくると、渡すあてがなくてもプレゼントを探してみたいくなる。相手がいればなおさら。クリスマスディナーの予約もさぞかし楽しいにちがいない。

昨今、アラカルトで注文する軽いフレンチが人気。おしゃれかもしれないが、フランス料理なら、やっぱりコースがいい。満足度がちがう。始まりがあって、メインがあって、終わりがあがる。その流れを作り出すシェフの気持ちが伝わってくる。おなかもいっぱい、心も満たされる。シェ・タスケは隠れ家のような店だ。曙町の住宅街の中にある。この一帯は吉祥寺のような雰囲気もあり、めまぐるしく変わる立川駅周辺とは思えない。大地からいただいた恵みにはお返しをしていかないといけないんじゃないか、というシェフ。ジビエにも感謝をこめて腕をふるう。

オードブルは〈白子のムニエル ケッパーソース〉。衣がパリッと焼かれている。ピネガーの効いたソースが鼻をくすぐる。口に入れ

シャンパンのジュレ

ればまったりと、白子が衣をやぶってソースとからまりながら溶けだしてくる。文句なしにおいしい!

クリスマスメニューのメインには、数に限りのあるえぞ鹿。雑食なので、生息地域限定の確かなものだけを使う。鮮度は抜群。もちろん鹿ではなくて牛を選ぶこともできる。魚料理は〈あわびのアンチョビソース〉。それだけでもおいしいアワビは、熱を通して少し弾力のある柔らかさ。ナイフとフォークで大きめに切り分けて、アンチョビの濃厚な味わいをからませる。すごく贅沢な気分! 付け合わせのマッシュポテトもふんわりと、アワビの肝と一緒にいただいた。磯の味がギュッと詰まっているようだ。

ガラスの器に宝石をつめこんだようなデザートは〈シャンパンのジュレ〉。季節の果物に彩られ、まるでお姫様のような存在感。ひんやりと甘く、ほんのり酸っぱく、香り豊かなごちそうで、今日のメニューをしめくくる。これぞフレンチ! という食後感がたまらない。シェフ手作りのお皿にもおもてなしの心を感じて、「また来ます!」。

シェ・タスケ  
立川市曙町 1-28-14

TEL 042-527-5959  
【要予約】定休日 毎週月曜日 (他月1回火曜日休み)

写真: 五来孝平

# お父さんたち、子どもと一緒に遊ぼう!

立川市レクリエーション協会理事長

## 中野 隆右さん



■中野隆右(なかの・たかみち)／昭和12(1937)年生まれ。江戸時代、現在の柴町に入った新田農家の家柄。祖父・田郎吉氏は戦前立川運送を創業した経済人、父・藤吾氏は立川短大校長などをつとめた経済学者。自身もフロム中武役員や郵便局長などを歴任。現在、立川市レクリエーション協会をはじめ、立川市障害者後援会、立川市教育振興会の三NPO法人理事長をつとめる。

■芳賀敏博(はが・としひろ)／えくてびあん編集長

於：えくてびあん編集工房 写真：小林達実

**芳賀** 中野さんが理事長をされている立川市レクリエーション協会は、NPO法人なんですね。

**中野** 平成16年にNPO法人に認定されました。というのも前の年に立川市から中・高生ジュニアリーダー研修の全面委託を受けることになり、市の指導もあってNPO法人化して組織的な基盤を整えたんです。任意団体としては個々の団体や個人会員に呼びかけて平成10年にスタートしていますから、10年の実績があります。

**芳賀** レクリエーションといっても、範囲が広くて漠然とした感じがしますが、立川の特徴というようなものはあるんですか？

**中野** やはり国営昭和記念公園や多摩川など、子どもも大人も活動の場

に恵まれる環境、レクリエーション資源に恵まれていることですね。任意団体として発足したきっかけも平成7年に日本レクリエーション協会と東京都レクリエーション協会のモデルケースに立川市が指定されたため、11年度から3年間、日レク・都レク・立川レクの三者共同事業で昭和記念公園でのニュースポーツ普及活動などを行いました。ジュニアリーダー研修も昭和記念公園、市の多摩川べりの炊飯場・八ヶ岳山荘などを使っていますが、こうしたことも恵まれていると思います。

**芳賀** 国営昭和記念公園の存在は大きい。

**中野** 日レク、都レクが立川をモデルケースにしたのも、昭和記念公園があるからだったんじゃないかな。公園で

はディスクゴルフとかベタンク、クロッカー、ローンボウルズ、馬蹄を投げるホースシューズなど、日本ではまだまだ知られていないスポーツができますし、「こどもの森」の木工房なども子どもたちに人気がある。そういうところで指導しているのも立川レク協の人たちです。毎年5月5日「こどもの日」には園内で、むかし遊びを子どもたちに教えていて、私も竹馬とか紙のかぶと作りをするんです(笑)。ジュニアリーダーたちも、子ども会での活動のほか「楽市」で遊びを楽しんでもらうプログラムを自分たちで考えたり。

**芳賀** 僕は木工房など昭和記念公園で活動しているボランティアの方たちとか、地域の土曜クラブ、立川の子ども会などは素晴らしいなと思っているんです。みなさん、ほんとうに頑張ってます。子どもたちのためにやろうと真剣な大人の方たちがちゃんといえる。子どもたちの指導といっても真剣勝負でしょ。

**中野** 子どもは大人が本気かどうかシビアに見ていますからね。私も地域の子どもの会連合会の会長をしたことがありますが、いい加減な気持ちじゃできない。かといって「ついて来い!」とこっぴど力んでも離れていく(笑)。そのあたりが難しい。指導者を育てるといのは大変なんです。レク協でも、いま指導している人々を継いでくれるような40代、50代の人々がなかなか出てこない。シニア世代には素晴らしいものを持っている方がたくさんいますが、それを子どもたちに伝える間の世代が……文化でも遊びでも継承が問題なんです。われわれはその仲立ちをしたいと考えて活動していますが、悩みますよ。

**芳賀** たぶん、いまの子どもたちのお父さんたちの世代は、空き地がき大

がいている遊びはしていませんし、もう断絶があるんじゃないかな。

**中野** 木工房にやってくる親子を見ると、お父さんがナイフとか工具類を使えないことが多いんです。あれじゃ子どもに教えられるわけがない。それから発想力というのかな、材料や手順を与えられればできるけど、とりあえずあるものをどう使おうか、どう遊ぼうかという弱さ。こう言っただけでは申し訳ないけど、お母さんたちの方が積極的だし元気(笑)。ジュニアリーダーも以前は男子が多かったのに、いまは7割方女子ですよ。受験とかいろいろあるのかもしれないですけど。

**芳賀** そう言われると僕もつらい(笑)。仕事世代の男って、家庭にも地域にもなかなか関わることができない。

**中野** そこなんです。みんな厳しい仕事をしていて時間がないし、視野も仕事にしか向かない。でも、そういう人たちが定年になって現役から離れると居場所がないということになる。実は昭和40年代の終わり頃、立川市の社会教育委員をしている時に勉強会があるからと言われて千葉県君津まで行ったことがあるんです。新日鉄の人事関係の人が講師で、話題は「定年後のことを考えて、現役の40代、50代から地域の活動をするべきだ」と。当時そんなことは問題にもなっていなかったんですが、なるほどそうかと。市もちょっと必要性を認識していた時期だったのでしょね。すぐ動き始めてくれました。全国でも早い方だったと思います。当時は、そんなことあるのかという感じでしたが、いまと比べてみるとまったくその通りでしたね。

**芳賀** お父さんたちも、子どもと一緒に地域に

来い!

**中野** それぞれが仕事で得た素晴らしいものを持っているはずですよ。それを狭い視野で、これしかない、というのではなく、いろんな人と付き合って視野を広くしていけば、地域がずっとよく分かるし楽しくなります。そして自分の持っているものを社会に還元するというか、人に伝えていく。レクリエーションも同じことで、自分でできるようになったら、それを人に教え、伝えていく。そういう人を育てたいんです。

**芳賀** レクリエーションというと「遊び」、体を動かしたりして自分が楽しくリフレッシュできればいいというだけじゃなくて、けっこう奥が深い。

**中野** 「遊び」という要素は、スポーツや文化、すべてに関係があるじゃないですか。レク協も、体育協会や文化協会などともっと連携しながら、次の時代を担う人々を育てていきたいと願っています。立川にはもともと新しい人を受け入れる土壌があるんです。明治以前からの住民は少なく、柴崎と砂川の間のぽっかり空いたところにできた飛行場とか、戦後の米軍基地に引き寄せられてきた人たちが街を発展させてきた。いまはそこに昭和記念公園があります。レクリエーションに限らず、いまの立川に集まる人たちが新しい発展を生み出していくんじゃないかと思えますね。

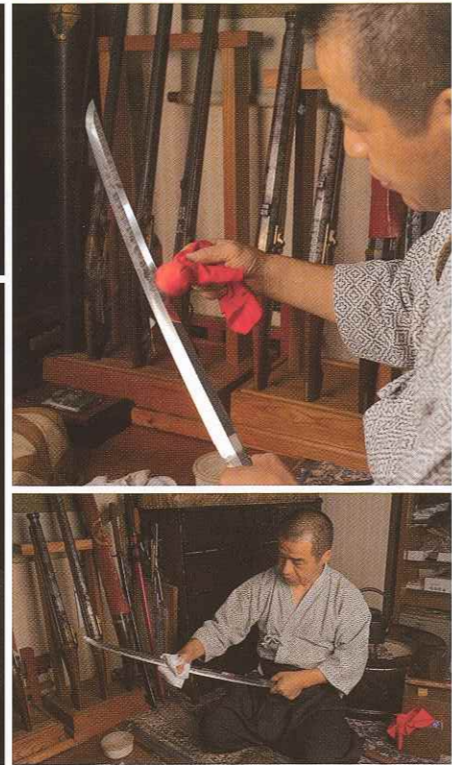
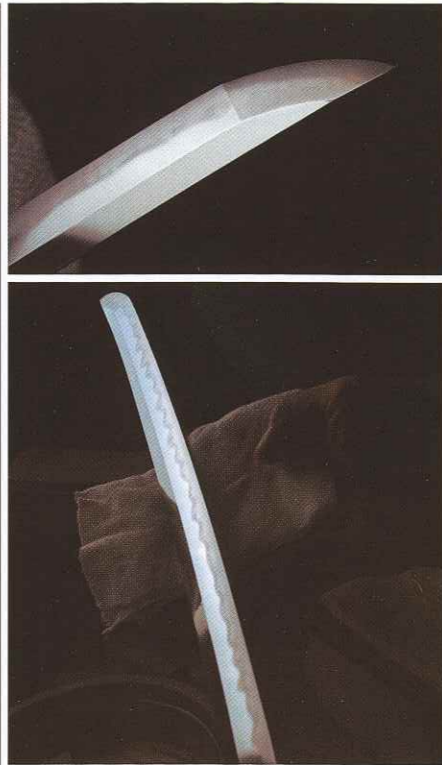
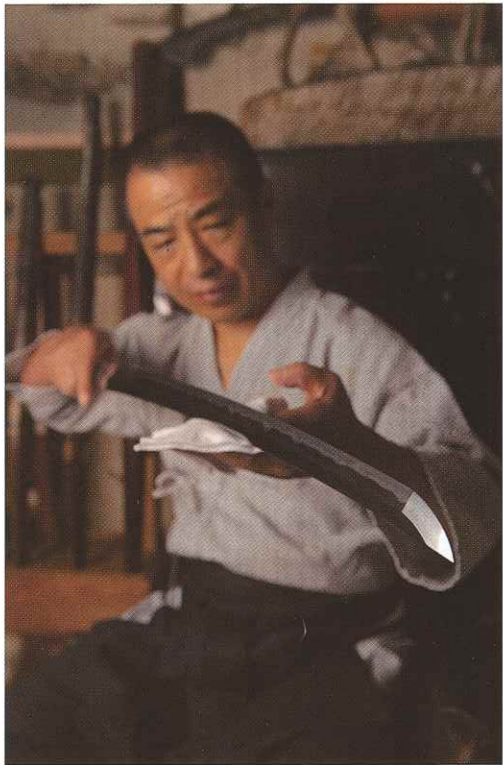


|               |             |          |
|---------------|-------------|----------|
| 輸入文具          | ホワイトハウス     | 525-8558 |
| ステンドグラス       | ぱさーじゅ       | 522-1941 |
| 輸入雑貨          | BASE 26     | 548-4326 |
| スバゲティー専門店     | はしや         | 528-2338 |
| フランス風家庭料理     | ラ・フランス      | 529-5522 |
| ビックカメラ        | 立川店         | 548-1111 |
| Wine & Dining | るもん         | 527-3022 |
| 飲食店           | 玉河          | 522-2654 |
| 三菱東京UFJ銀行     | 立川支店        | 524-4121 |
| ローソン          | 立川曙町二丁目店    | 526-7652 |
| いわしのたかね       |             | 527-5958 |
| カフェ           | アバン         | 527-4479 |
| ダイエー          | 立川店         | 525-0331 |
| 手打ちそば         | しえもと        | 529-5468 |
| サイクルショップ      | シンボ         | 522-6211 |
| 天ぶらわかやま       |             | 525-0222 |
| スペイン料理        | ロス・クアトロ・ガトス | 528-1654 |
| すし            | 魚正          | 522-3437 |
| 園部肉店          |             | 522-2901 |
| Cut Studio    | SOFIA       | 528-3241 |

えくてびあんの輪  
立川と語ろう 立川に生きよう  
えくてびあんは  
リストのお店にいつもあります  
今月は 曙町・羽衣町のお店です。

|             |         |                      |
|-------------|---------|----------------------|
| 立川市女性総合センター | アイム     | 528-6801             |
| 三田花店        | 立川高島屋店  | 526-4187             |
| エミリーフローゲ    | 高島屋立川店  | 526-9788             |
| 立川高島屋       | サービスフロア | 525-2111             |
| オリオン書房      | ノルテ店    | 522-1231             |
| (株)JTB法人東京  | 西東京支店   | 521-5550<br>521-5585 |
| 元祖つけ麺       | 味幸      | 527-4701             |
| 立食いそば・うどん   | むさし     | 521-0377             |
| 額縁専門店       | プリムベール  | 528-6789             |
| 多摩信用金庫      | 東立川支店   | 524-0611             |
| Cake Studio | 35      | 527-6808             |
| 林 歯科        |         | 522-5657             |
| 中島豆腐店       |         | 522-5732             |
| フレッシュフルーツ   | 立川商店    | 522-3565             |
| 化粧品         | OZAWA   | 522-3749             |
| 本・事務用品      | 泰明堂     | 522-3353             |
| 文具の         | ないとう    | 522-3677             |
| テラー         | 安武      | 522-4820             |
| 西友          | 西国立店    | 524-5101             |
| 赤松          | タバコ店    | 524-7852             |

永正十三年二月吉日と記された深い刃文  
互の目乱(ぐのみだれ)



互の目乱刃 こちらも名刀

薙田さんは太極拳の先生でもある。太極拳にはゆっくりとしたイメージがあるが、本来は命がけの勝負。相手の力を受けるより、流す。力を使うわけではない。力を抜いて勁を使う。年齢が高くても勝てるのはそのためだ。肩の力を抜くと自ずとまで肩になる。気を上丹田から中丹田へ、さらに下丹田へ落とす。腹が出てくる。「ペットボトルと同じです。水を三分の一くらい入れて立て、つくと倒れない。しかし頭まで水を入れると倒れてしまうでしょ?」。人間も同じだ。腹に気を落とした人間は少しのことでは倒れない。そうでないと、刀を使うこととはできないのだから。

薙田さんは五年で作ることを許される。刀の研ぎは十年かかる。師に対して疑う目をもつと修行は続けられない。先生が白いものを赤といたら、それは黙って聞いていなければならない。やがて五年、六年経てば先生がなせ赤といたかが分かってくる。「自分の常識が頭にあると黙って聞いていられない。赤ではない、白だと言いたくなる。言ってしまったら、修行はそこで終わりです」と薙田さん。真剣勝負の武道はスポーツとは異なる。伝統芸能や武道は「氣」ともいえるべき目に見えないものを扱う。これは長年やっているうちにわかってくることで、最初から否定してしまうと継承できなくなる。

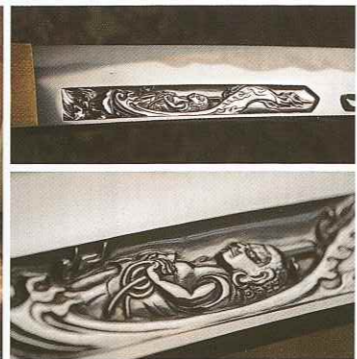
薙田さんが手にしているのは、来国光。材料の地金が最もいい時期、主に鎌倉時代末期に活躍した名工だ。名刀である。来国光の刀は希少価値が高い。文化財は作られた時の姿がいかにかに保存されているかが問われる。研師は刀の化粧を落とし、ふたたび化粧をほどこして保存する。こうして何百年も経てきた刀が、作られたばかりのような美しさで、今、ここにある。

片方に刃があるから、かたなという。戦法が変われば武器の形も変わってくる。馬に乗って戦っていた時代使っていたのは太刀。長く反りが深く、腰に吊るすので刃が下を向いていて上から斬りつけるのに適している。徒歩で戦うと刀は帯に差す。刃は上を向き、反りは浅く長さも若干短くなってくる。武器は全国一斉に形を変えるという。幕末以前は真剣勝負の殺し合い。武器の変化をいち早く察知し、それを理解し取り入れないと自分の国自体が危なくなる。

拵(こうがい) 小柄(こづか)



拵(つば)



目貫

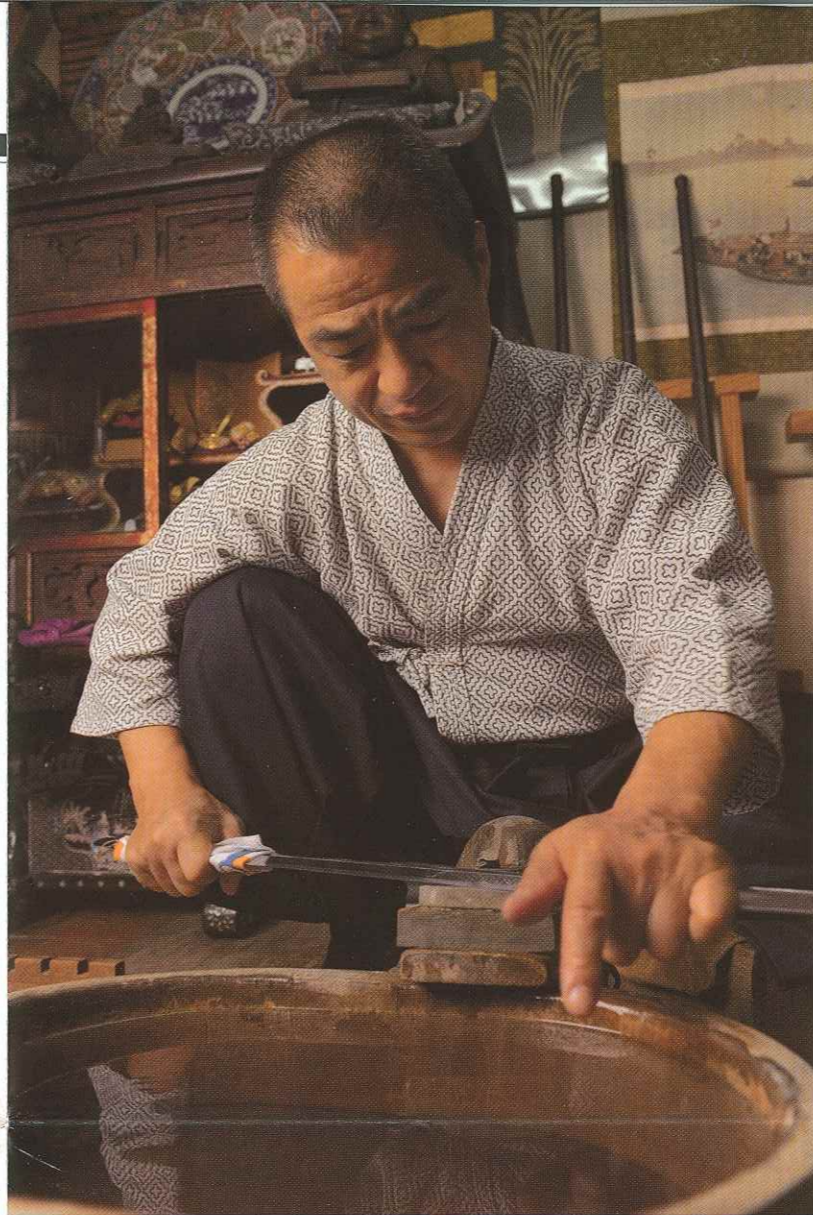
不動明王が彫ってある  
飾りだけでなく護ってもらう意味

# 刀剣研磨は伝統の技

## 刀を研ぎ 心を鍛錬する

薙田直治さん。本阿彌流の刀剣研師だ。  
立川駅南口からすぐのところにある古美術を扱う店。店を構える研師は多くない。  
集中して研ぐ時は、薙田さんも店に鍵をかけてしまう。  
貴重な刀の刃を最高級の砥石にあてる。空気が張る。研ぎすまされた一瞬だ。

写真・五来孝平



立川の話題いっぱい！  
わたしとあなたとたちかわを結ぶ街ナビネット  
多摩てばこnet  
www.tamatebakonet.jp/

立川市曙町3-4-3  
武藤ビル2F  
TEL/042-548-9606

常楽我浄  
真如苑提供番組くじようらくがじょう

スカイパーフェクTV 216ch  
マイ・テレビ11ch

放送時間については番組表をご確認ください。

立川に育てられて七十二年  
真如苑  
柴崎町1-2-13 Tel. 527-0111(代)  
www.shinnyo-en.or.jp

雑誌・書籍・地図・政府刊行物・教科書・文房具・事務機

オリオン書房

■ルミネ店 (立川ルミネ7F) .....TEL 042-527-2311  
■ノルテ店 (パークアベニュー3F) .....TEL 042-522-1231  
■サザン店 (グランデュオ下サザン2F) .....TEL 042-525-3111  
■アレア店 (アレアア2・3F) .....TEL 042-521-2211  
■立川北口店 (第一デパート3F) .....TEL 042-523-3311

http://www.orionshobo.com

大廣社は今、「知的集約」型企業を実践しています。

伝達を使命とする情報産業の要を担う大廣社は、新しい時代の新しい表現を責任持って拓くために、クリエイティブから最終製品にいたるまでの一貫体制を構築しています。

先進のシステムと最新技術との融合

株式会社 大廣社  
〒190-0022 東京都立川市曙町5-17-13  
tel. 042-527-1911  
fax. 042-527-1949  
E-mail info@daikousya.jp  
http://www.daikousya.jp/index.html

えくてびあん流

## 日曜午前11時は 84.4 FMたちかわ

「音楽屋元就の多摩てばこラジオ」放送中

周波数84.4MHz、立川のコミュニティーFM局「FMたちかわ」で、えくてびあん提供の番組が始まりました。

毎週日曜午前11時から30分番組、「音楽屋元就の多摩てばこラジオ」。えくてびあん、多摩の地域ウェブサイト「多摩てばこネット」のネットワークを活かして、立川の魅力と人の温もりを、なつかしの1970～80年代音楽をまじえてお送りしています。

パーソナリティーは、若手シンガーソングライターの音楽屋元就さん、アシスタントは工藤麻乃さん。若い元就さんがギターを背に立川で活動するさまざまな人々を訪ね、「立川人」の話題と人柄を紹介する「タッチー(立川)！ザ・ヒューマン」、旬のイベント情報を厳選してお伝えする「多摩てばこ情報」などで、休日の午前を楽しく過ごしていただきます。

11月16日、23日、30日は、高松町のアトリエに銅板造形作家の赤川政由さんを訪ねての放送。12月7日、14日には、幸町ロバハウスに音楽家の松本雅隆さんをお訪ねしてお届けします。その後も多彩な「立川人」と音楽が続々登場。えくてびあん、多摩てばこネットともども、どうぞよろしく願い申し上げます。



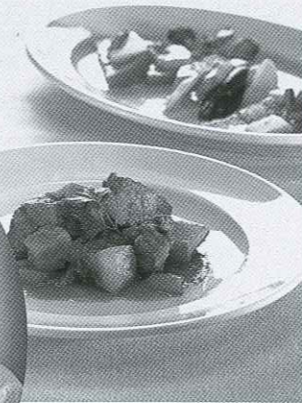
高松町BONZE工房前で赤川政由さんと音楽屋元就さん(左)

この人この店 65

## パセリ ドゥーエ

上川路 豊さん

このコーナー2度目の登場、上川路さん。錦町の〈パセリ〉のほかに、柴崎町にもイタリア家庭料理の店〈パセリドゥーエ〉をオープンしました。夜のメニューから「豚肩ロースのトマト煮込み」をご紹介。柔らかい豚肉にはトマトの旨味がしっかり溶けこんでいます。口に入れるとトロク。でも味わいはさっぱりしていて飽きがこない。これがトマトの妙味ですね。ベーコンは手作り。パスタは自家製の生麺。ピザの生地も自分でこねる。安全性を追求して地産地消。立川産の野菜を多く使用します。世の中の食料危機をすでに予知していた？「別にそんなことを考えていたわけじゃないけれど……」。口にはなくても、自分が納得するものをお客様にお出ししたい。そんな思いが強いのでしょう。それにしても、この野菜のマリネ。おいしい！ 鮭といくらのクリームパスタもおいしい。生麺ってこんなに違うんだ……このコーナー、写真はワンカットしか入れられないんです。残念！



〒190-0023  
立川市柴崎町 2-3-7-2F  
TEL 042-595-8366  
営業時間 11:00～22:00  
ランチタイム 11:00～15:00  
定休日 毎週月曜日



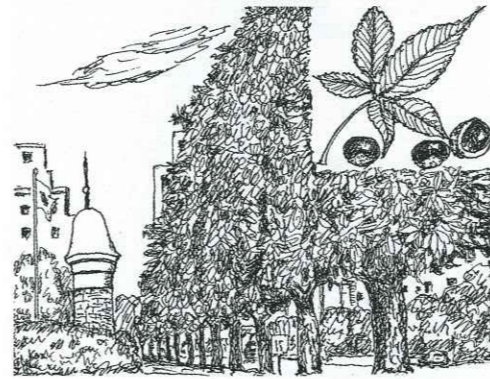
写真撮影：五来孝平

## みどり巡り花めぐり

街の緑・街路樹②

## トチノキ

緑花文化士 森江晃三(イラストも)



桜田門 法務省前のトチノキ並木 右上 葉と実・種子

苛酷な道路脇に植えられるのは少しかわいそうな感じもしますし、暑い夏の日などは葉先が枯れかかるとも。しかし細かい枝を出さず、太い枝を伸ばすすっきりと堂々とした感じが、広い道路などには似合います。

5月頃、花が円錐状についた形から「銀の燭台」とも呼ばれる美しい花を咲かせます。花は高いところに咲くので、街路樹では遠くからしか見ることができないのですが、個々の花は白い中に中央が淡い紅色をしていて、なかなか美しい花です。花の時期、双眼鏡などを使うと良く見えます。

七葉樹という別名もあり、1枚の葉が掌状に分かれています。必ずしも7つではなく5～7で、このような葉を掌状複葉といい、分かれている葉のそれぞれは小葉と呼ばれます。冬、「テカテカ」した大きな冬芽をつけて光っているのも特徴です。

秋に3つに割れた実から、茶褐色の栗に似た種子を落します。けっこう大きなもので、人に当たるとかなりの衝撃ですし、下に停めた車などに当たるとへこむこともあり得ます。桜田門の木には「上から木の実が落ちてくる場合があります」と注意を呼びかける看板がつけられています。

この「実」(種子)は餅にして食べられることが知られていますが、タンニンやサポニンなどを多く含んでいて「毒抜き」をして食べられるようにするのは簡単ではないようです。そうは分かっている、道の上に落ちておるとつい拾ってしまいます。あの丸っこい種子の形やすべすべした肌は、なでてみたりポケットやバッグに入れてたくります。

近年は日本在来種だけでなく、アメリカ原産のアカバナトチノキや、これもパリの並木道で有名なマロニエ(セイヨウトチノキ)との雑種といわれるベニバナトチノキも街路樹に見られるようになりました。

### information

- 緑花文化士は、毎年11月に行われる「緑・花 試験(緑・花文化の知識認定試験)」で優秀な成績をとられた方に贈られる称号です。同試験や緑花文化士について詳しいことはホームページ <http://www.midori-hanabunka.jp> で。
- 国営昭和記念公園 花みどり文化センターでは、緑花文化士による「緑・花文化を楽しむ講習会」や展示会が開催されています。12月27日から来年2月16日は、緑花文化士・下田あや子さんの協力で「初春(はつはる)を寿(ことほ)ぐ日本の伝統的文様」展。日本を代表する草木染である藍。その伝統的な柄を伝えてきた型紙の世界を、松竹梅、鶴亀など、新春らしく縁起の良い文様を中心とした型紙や染め作品で紹介いたします。詳しくは公園HP (<http://www.showakinenpark.go.jp/>) から花みどり文化センター案内へ。

表紙の人

松本 更紗さん(幸町)

国立音楽大学に通う学生さん。と同時に、中世・ルネサンス時代にヨーロッパで演奏された古楽器ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者としてステージに立つ演奏家であり、日本では珍しいヨーロッパ宮廷舞踏のダンサーでもある。「えくてびあん」では幸町「ロバハウス」主宰する父・松本雅隆さんに2003年12月号の表紙を飾っていただいている。初の親子での表紙ご登場。イルミネーションの下でダンスのポーズをとってもらうと、寒い冬の公園が魔法にかかったように宮廷の華やかさに輝く。

国営昭和記念公園で

写真：細江英公

## かたこと

早いもので、今年も最後の月の「えくてびあん」をお届けいたします▼冬至に向かって日がどんどん短くなり、つる寒さに木枯しも吹く頃、年の瀬の気ざわしさがそろそろ身にしみてきます▼何か追い立てられるような暮れの雰囲気を感じてくれるのはクリスマスや年末のイルミネーション▼今年も12月5日から国営昭和記念公園の冬のイルミネーションが始まります。表紙もイルミネーションに映える松本更紗さん▼灯りは見ているだけで何かホッと温かさを感じさせてくれます。寒い寒いと縮こまっていなくて、外で楽しく活動するのも冬を楽しく過ごす方法▼対談させていただいた立川市レクリエーション協会の中野隆右さん。楽しく遊びながら、同時に子どもも大人もお年寄りが交流し合える場は知恵や文化を伝える場にもなります▼武士を象徴する刀剣も日本伝統の文化。それを研ぐ研師・菊田直治さんを紹介したVIEW。氷のように研ぎすまされた刃も、それを扱う人の心も、冬の朝の空気のように澄み切った緊張があります▼「えくてびあん」も、くもりなく澄み切った思いで新しい年に踏み出したいものです。今年一年間のご愛読ありがとうございました。どうぞ良い年をお迎えください。(芳)

### スタッフ

編集 大久保清志/清水恵美子/中薫子  
デザイン 池田隆男(WATER DESIGN ASSOCIATES)  
AMNET design factory  
写真 小林達実/五来孝平

### えくてびあん (C) 12月号

第27巻 通巻289号  
平成20年12月1日発行  
発行 えくてびあん編集部  
〒190-0012  
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F  
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065  
編集人 芳賀敏博  
発行人 黒須 環  
印刷 (株)大廣社

無断転載を禁じます。

# さとう その子の アート気分

⑤

〈MUKOへ〉のMUKOは〈向こう〉。〈夢〉という言葉はあまり好きじゃない。こうしようとか、あらかじめ決めているみたいで。未来というか、何があるかわからないMUKOへ一歩踏み出す感覚が好きです。踏み出したらワーツと広がったり何か見えてくるかもしれないでしょ。今回初めてBONZE工房の銅板作家、石川雅人さんとのコラボレーションをしました。若い人と私とで感性を出し合うことで、そのMUKOに見えてくるものがあるんじゃないかな。

[ MUKOへ 1 ]

[ MUKOへ 2 ]

